（別紙２）

【様　式】

令和４年度農事功績表彰候補者推薦事由調書　都道府県名**：**

部　門　名**：**

*＜注＞部門名は，農産，特産，野菜，果樹，花き，畜産，複合の中から選択。以下、斜字体の注は、完成版では削除すること。「複合」は、農産以下６部門のうち複数の部門に取り組み、粗収益一位の部門が粗収益全体の*

*８割未満の経営とする。加工販売を行っている場合も、その原材料となる一次産品（農畜産物）の部門で整理する。なお、一次産品の生産を全く行っていない、加工販売専門の経営は対象としない。*

(1)　表彰農家氏名等

 氏　 名：　 　　 （ふりがな） 　　　　　 　　　　　 生年月日：　　年 月　日

　住　 所：〒 　　　　 　　　　　　　　　　年　　齢： 歳

　電話番号： 　　　　　　　　　　　(令和４年４月１日現在)

　FAX番号：　　　　　　　　　　　　　　　 農業経験年数：　　　年

 E-mail : 最終学歴：

 (2)　調書作成者等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 本調書作成者 | 所属職名： |  |
| 　 | 氏　　名： |  |
| 　　　　　　 | 電話番号：　　　　　 | ＦＡＸ番号： |
|  　  | E-mail： |  |
|  　  | 所 在 地：〒 |  |
| 上記の担当責任者*(注）* | 職　　名： |  |
| 　　　　 | 氏　　名： |  |
| 　　　　　 | 電話番号：　　　 | ＦＡＸ番号： |
| *(注）他機関が調書作成者の場合，担当普及指導センターの担当者名、連絡先を記入* |
| 都道府県庁担当部課係名 ： |  |
|  | 担当職名・氏名： |  |
|  | 電話番号： | ＦＡＸ番号： |
|  | E-mail： |  |
|  | 所 在 地：〒 |  |

 (3)　経営の特徴

*(粗収益を１つの判断基準として、１つの作目で8割以上を占める時は、単一経営や専作経営の用語を利用し、「稲作単一経営」、「施設トマト専作経営」、「切り花キク専作経営」、「肉用牛肥育単一経営」等と経営の特徴が解るように端的に記入して下さい。また、複数の作目からなる時は粗収益の多い順に、「稲・麦・大豆作複合経営」、「施設トマト・キュウリ作複合経営」のように記入して下さい。粗収益が拮抗する作物等が多い場合には、「露地野菜作経営」等と記入して下さい。なお，粗収益が少なくても当該農家の表彰事由として一番のポイントにあげるべきと考える作目があれば，その作目を冠した○○経営と記入して下さい。）*

 *＜注＞農事功績者名簿には、これらの区分を参考とし、「農業経営の成果」「表彰推薦事由」等を参考にして、表示の仕方を変えることがありますのでご承知おき下さい。*

(4)　農業経営の形態

*(いずれかに○印を付けて下さい。両方の経営形態に該当する場合は、稲作経営、米加工・販売経営等と各々*

*の経営・分野を付記して下さい。一戸一法人の場合は、家族経営に○をし、法人名を書いて下さい。）*

　　家族経営

　　法人経営　(名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(5)　家族等の概況

*（家族経営と法人経営の両方に該当する場合は、①②の両欄とも記入して下さい。１戸１法人の場合には、①の欄のみに記入して*

*下さい。農業従事者は、家族（経営者を含む）の内当該農業経営に従事する者で雇用者を除きます。）*

1. 家族経営　家族総数 人　、　（1戸1法人の場合：経営者　　人(うち男 　人、女 　人)）、

農業従事者　 人(うち男 　人、女 　人)

雇用労働力 　年間延べ　　人日　(うち通年雇用　　人：男 　人、女　 人)

　　　後継者 ：　現在就農中 ・ 将来後を継ぐ（現在：　　　　　　　） ・ いない

 *(該当項目の頭に○印を付けて下さい。将来後を継ぐ場合は（ ）内に在宅他産業従事、非在宅他産業従事、在学中等現在の就業状況等を簡潔に記入して下さい）*

1. 法人経営 構成戸数　　　戸　、　　　　　経営者　　人(うち男 　人、女　　人)、

農業従事者　　人(うち男　 人、女 　人)　、

　　　　雇用労働力 　年間延べ　 人日　(うち通年雇用　　人：男 　人、女 　人)

 (6)　表彰候補者の経営規模等

*(地目等毎、作物毎に延べ作付面積を記入し、年2作以上の場合は作数を分かる範囲で記入。可能な範囲で栽培体系を添付して下さい。ha未満の場合は、a単位で記入。)*

ア　経営面積 　　　 　　　　　　　 　　 　　　イ　作付面積

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地目等区分 | 面積等数量 | 作 物 名 | 作 付 面 積 |
| 水　田 | 　　　　ha(うち借地 　 ha)  |  | ha |
| 普通畑 | 　　　　ha(うち借地 　 ha) |  | ha |
| 果樹園 | 　　　　ha(うち借地 　 ha) 　　　　　 　　　　　　　　　　　  |  | ha |
| 桑　園 | ha(うち借地 　 ha) 　　　　　 　　　　　　　　　　　  |  | ha |
| 茶　園 | ha(うち借地 　 ha)　　　　　 　　　　　　　　　　　  |  | ha |
| 草　地 | 　ha(うち借地 　 ha)　　　　　　　　　　　　　　　　　  |  | ha |
| 山　林 | 　　　　ha(うち借地 　 ha) | 　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　  | ha |
|  |  |  |  |
| 施　設 | ガラス温室(　棟)  | ㎡  |  | a |
|   | 鉄骨ハウス(　棟) | 　　　㎡ |   | 　　　　　　a |
| 　  | ビニ－ルハウス( 棟)  | 　　　㎡ |   | 　　　　　　a |
| 　　　　　 | 雨除けハウス( 棟) 　 | 　　　㎡ | 　　  | 　　　　　　a |
| 作業受託面積 | 作業名  | ha | 作業名  | ha |
| 　　  | 作業名  | ha | 作業名  | ha  |
| 全面受託面積 | 作物名  | ha | 作物名  | ha |

ウ　家畜飼養頭羽数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 乳牛（搾乳） | 頭  | 肉用牛(繁殖) | 頭  | 豚(繁殖) | 頭 |
| 乳牛（育成） | 頭  | 肉用牛(肥育) | 頭  | 豚(肥育)　 | 頭 |
| 養鶏（採卵鶏） | 羽  | ブロイラー  | 羽 | その他( 　 ) | 頭  |

エ　主な農業機械施設

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名　称（規模等） | 数量 | 名　称（規模等） | 数量 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

(7)　経営改善に役立った補助・融資事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　事　業　名　等 | （年　　度） | 導入した施設の名称及び規模等 |
|   | （昭和　年） |  |
|   | （平成　年～　年） |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

(8)　農業経営の成果

*（特別な場合を除き、令和3年度の実績について、下表の1つを選択し（家族経営と法人経営の両方がある場合は両方）、品目別または部門別に、万円単位で記載して下さい。経営費には、家族労賃を含みます。法人経営では、経営費又は利益に含まれる表彰候補者に帰属する報酬額分について（　　）書きして下さい。また経営所得安定対策（畑作物の直接支払い交付金、水田活用の直接支払い交付金等）については、部門毎の粗収益に含めるか、又は別部門として明記して下さい。）*

①　家族経営（法人以外）　　　（単位：万円）　　②　法人経営　　　　　　　　（単位：万円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門名 | 農業粗収益 | 経営費 | 所 得  |  | 部門名 | 農業粗収益 | 経営費 | 利 益  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 　計 |  |  |  |  | 　計 |  | 　　　　（　 　） | (　　 ) |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　注：（　）内は表彰候補者に帰属する報酬額を示す。

(9)　既往の主な褒賞実績･称号等

*（褒賞のほか主な役職、資格について、古い年次の事項から記入して下さい。月が分らなければ年次のみでよい。役職などの場合には昭和○○年～令和○○年のように期間を入れて下さい。夫婦連名で候補になっている場合には、夫婦それぞれの褒賞実績等を分けてご記入下さい。）*

(10)　表彰推薦事由(その１：表彰農家の農事改良等の実績)

*審査に当たっても、経営概要の紹介に当たっても、最も重要な部分となりますので、質・量ともに力点を置いて記入して下さい。特に表彰候補者の農業経営について、単に経営規模の推移を記述するのではなく、①技術面での改良実践の経過及び現在実践している技術の具体的内容と特徴、②経営面での新しい作目の導入経過、面積及び経営内容の変遷、特徴等について、箇条書きで、経年を追って出来るだけ具体的に記述して下さい。*

*技術及び経営の特徴の記述には、その独創的な工夫点を取り上げ、また、周年出荷の確立などの場合には、品目、作型の構成の表示など、工夫して下さい。夫婦連名で候補者になっている場合には、夫婦それぞれの実績が分かるようにご記入下さい。*

 *要約欄は、以上の内容をわかりやすく80字程度に要約して下さい（記入に当たっては、大日本農会発行の農業臨時増刊号「令和３年度農事功績表彰者の紹介」の要約欄の記述例を参考にして下さい）。*

|  |
| --- |
| 要約： |

1. 昭和 年～昭和 年（その年代の経営等の特徴）

 *（その年代の経営等の特徴は、前記農業臨時増刊号「令和３年度農事功績表彰者の紹介」で示されているような簡潔な表現を工夫して下さい）*

・

②　昭和 年～平成 年（その年代の経営等の特徴）

・

③　平成 年～平成 年（その年代の経営等の特徴）

・

④　令和 年～現在（その年代の経営等の特徴）

**・**

(11)　表彰推薦事由(その２：表彰農家の地域農業発展等への貢献)

*（10）と同様に、質・量ともに力点を置いて記入して下さい。*

*表彰候補者がその地域農業の改良･発展に貢献した実績について、先の表彰推薦事由(その１)で記載した内容と直接関連した事項を優先して、貢献内容の区分毎に箇条書きで記述して下さい（但し、その１と同じ記述を繰り返すのではなく、地域等への普及や地域農業の発展に結びついた活動や貢献の内容を中心にして下さい）。また、地域農業の振興・発展に貢献した各種活動や組織活動についても、具体的に記述して下さい。これらの中には、青年農業者等の育成に関する事項も含めて記述して下さい。夫婦連名で候補者になっている場合には、夫婦それぞれの実績が分かるようにご記入下さい。*

 *要約欄は、以上の内容をわかりやすく80字程度に要約して下さい（記入に当たっては、大日本農会発行の農業臨時増刊号「令和3年度農事功績表彰者の紹介」の要約欄の記述例を参考にして下さい）。*

|  |
| --- |
| 要約： |

1. 見出し（事項の内容の要約）

*（見出しの付け方は、前記農業臨時増刊号「令和３年度農事功績表彰者の紹介」で示されているような簡潔な表現を工夫して下さい）*

・

②　見出し（事項の内容の要約）

・

③　見出し（事項の内容の要約）